

9月6日18:00、携帯、おにぎり、水稻、懐中電灯、ラジオ、それに池上彰の本を1冊バッグに詰め込んで、いざ避難所の小学校へ。避難所デビューです。

冷房の効いた視聴覚室は既にいっぱい、案内されたのは体育館。全部で約13世帯30人ほどのせい、広々とした解放感。ソーシャル・ディスタンスも十分に確保されています。間仕切りなどはなく、壁に沿って、それぞれ一晩の住まいを確保します。暑くもなく寒くもなし。



町から貸し出されたのは、発泡スチロールで出来た敷物とキラキラ光る毛布。端のタグをよく見るとペットボトルで再生されたものと説明。このように再利用出来ると感心。幼児を連れた家族は広い体育館を思いっきり走らせ、隣の中年夫婦は睦まじく寄り添ってコーヒーを。かと思うと向かいの老夫婦が、それぞれ離れた場所で何やら言い争いをしています。中には避難慣れしているようなおじさんがいて、まるでキャンプにでも来たような万全の装備。大きなリュックを背負い、両肩に水筒、両手にはテーブルとイス、(今からパーベキューでも始めるのでは？まさか。)夜8時過ぎになっても、たまに風が木の枝を鳴らす程度。自宅に残った息子と友人たちに現地リポーター気取りで随時Lineで報告。この時点で、あまりにも外が静かなことが却って不気味。10時頃には館内の照明も落ち、皆さん横になっています。

9月7日：明け方から凄まじい風の音で目を覚ました。それまで横になっていた人たちも起き上がり、不安な表情。台風が行き過ぎるのを、じ〜と待つしかありません。館内沈黙の中、かの老夫婦の言い争いの声が、また館内に響きます。吹き返しの残る中、7時過ぎには、ぼちぼち帰る人も出てきました。一睡もせず、避難者を見守ってくれた役場の方にお礼を言い、私も避難所を出て、車で町内をウオッチング。どこもなんともありません。(よかったよかった)。胸が痛んだのは、庭の栗の枝が無残に切り落とされた姿・・・(間もなく色づく筈だったゴメンナサイ)。

避難所は安全安心の場。この度の体験で、これからも迷わず直行すると決めました。台風が去った後、とたんに凌ぎやすくなったのは、台風10号が暑気を運んで行ってくれたからだとか。(松石則子(秋田市))

J2サッカー・ブラウブリッツ秋田、九州・沖縄へ

昨年Jリーグ記録となる開幕から28連勝でJ3からJ2へ昇格を決めたサッカーチーム「ブラウブリッツ秋田」の今シーズン。九州・沖縄の試合日程が決まりました。コロナ感染防止の為、入場客数に制限はありますが、是非、応援をお願い致します。



3月21日(日)14時、場所：北九州市小倉北区、ミクニワールドスタジアム、対戦相手：ギラヴァンツ北九州

5月5日(水・祝)14時、場所：長崎市、トランス・コスモスタジアム長崎、対戦相手：V・ファーレン長崎

8月28日(土)18時半、場所：沖縄市、タピック県総ひやごんスタジアム、対戦相手：FC琉球